

第6回 大淀川水系 水防災意識社会再構築協議会 開催

大淀川流域等の関係機関が連携・協力し、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として協議会を設立し、ハード・ソフト対策を一体的、計画的に推進しています。

第6回となる今回の協議会では、減災に係わる取組方針の実施状況をフォローアップし、関係機関で進められている主な取組内容について共有を図るとともに、災害対策基本法の改正や水害リスクライン等河川に関する情報について共有を図りました。

開催概要

- 日時：令和3年6月2日（水）
- オンライン開催

協議会 委員名簿

- 規約別表のとおり。

議事内容

- 規約改正
- 「減災に係る取組方針」フォローアップ
- 次期5カ年の取組方針について

委員の方の主な発言

●【宮崎河川国道事務所長】本会議はH27年関東東北豪雨を契機とした会議であり、河川管理者だけではなく市町村、住民、企業等が水害のリスクを共有してそれぞれが主体的に行動し、大洪水というのは必ず発生するという認識を前提として社会全体で常に備える水防災意識社会を再構築していくことを目的としています。

●【宮崎地方気象台長】昨年台風10号では宮崎県内において記録的な降雨が予想され、甚大な災害が発生する恐れがあることから気象台と宮崎河川国道事務所合同で記者会見を開催しました。この会見はYouTubeで広く県民の皆様に配信されたところです。今後も記録的な大雨が予測される場合は、宮崎河川国道事務所と合同で記者会見を実施して参る所存です。

●【国富町長】国富町では、町の防災士連絡協議会、社会福祉協議会、国富町避難所職員が参加した避難所運営訓練を実施しました。令和2年台風10号時は過去最大の避難者が発生したということで、コロナ禍における避難所開設から運営のあり方について訓練をしたところであります。訓練の結果、ペット同伴の対応が不十分、福祉避難所の検討が必要、避難所に女性職員の配置が足りない、自主防災組織との連携が不十分、地震時の対応の訓練も必要ではないかという意見が出されました。

●【綾町長】マイハザードマップ作りの取り組みを宮崎県砂防課、地元消防団の協力を得て子ども会で実施しました。マイハザードマップ作りは今回初めての取り組みで、改めて自宅周辺の危険箇所を回ることによって再認識できたものと思われます。地元消防団員も参加することで消防団自身の意識改革につながったものと考えています。

●【高原町長】防災備蓄倉庫の設置を行っております。防災倉庫2棟を庁舎敷地内に設置し、避難所において、避難者同士の接触を回避する小型のテント、折りたたみベッド、非常食等を購入し保管しています。

●【杉尾アドバイザー】マイハザードマップ作りは非常に大切です。自分で地図に地点を落としていくと、役に立つ情報として記憶に残りやすいので、他の市町さんも是非まねして頂きたい。注意点としては、地形図をよく見て、周りから水が集まるような箇所は大雨が降ると危険な状態になるため、避難経路から外さないといけません。

